



森の守護神

森ボラ 通信

第225号 2021年2月20日発行

NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <https://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8ラルズ生活研究センター

TEL (fax): (011) 816-7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

トピックス

春は、もうすぐ！



写真/三橋

活動報告

◆ 2020 親子森林教室森しり隊第6回活動報告

お待たせー！みんな久しぶりだね！

冬の澄川の森によろこそ、「森しり隊」は冬もガンバルぞ！

2月14日（日）、曇り時々晴れ、気温+2℃、湿度68%と、2月とは思えない春を感じさせるコンディションの中、約4か月ぶりに第6回親子森林教室・森しり隊が開催されました。残念ながら隊員3名が欠席となりましたが、子どもたち8名、保護者11名、協会員19名、総勢38名の参加者となりました。

10月の「秋の大運動会」から間隔を空けての開催となりましたが、久しぶりの孫に会えたよう

な気持ちで嬉しい限り！今回は森しり隊員にとって初めての冬の森での活動となり暖房が取れないため、午前中だけの開催となりました。

雪の上での活動となるため親子全員にスノーシュー（西洋かんじき）を履いてもらいます。朝礼の前に手渡して協会員がその履き方をサポート。みんな四苦八苦しながら慣れない装備を履き終えました。いつものように9時半過ぎに清澤隊長による朝礼の開始です。次に「ラジオ体操をするのでスノーシューを外して」との隊長の一言でみんな一斉に「えーっ！」との声。やっと履いたのに隊長さんのいけず！これにはさすがの隊長もみんなの反応に負けて、スノーシューを履いたままカラダをほぐして、いよいよカリキュラムのスタートです。

一時限目は「冬の森歩き」です。今回も密を避ける為に3班に分かれて、広場から北側のD2地区を目指して森の中をスノーシューで歩きました。広場近くの「ケヤマハンノキ」に寄生している「ヤドリギ」の説明を受けた後、雪上に付けられた動物の足跡を観察しつつ、すっかり葉を落とした木々の樹形を観察しました。また雪上にある「ヘリコプター」と呼ばれるシナノキの種や、ツルアジサイなどのドライフラワーや何者かに襲われたであろう散乱した野鳥の羽などを見ていると、ついつい時間の経つのも忘れ、急かされつつ何とか目的地D2に到着です。

二時限目は「チェーンソーによる伐木見学」です。傾斜木となっているイタヤカエデが対象です。作業の前に「いつもながら張りのある声」の大窪さんから、この木を切る理由や切り方の説明を受けて、森ボラの「スーパー樵」の矢澤さんが受け口、追い口と切り進め理想的な切り口を残しながら豪快な音をたてて見事に倒れた木にみんなで拍手喝采です。（矢澤さんステキ！）

三時限目は「伐木体験」です。こんどは自分たちが整理伐の対象になっている細めの木を実際に受け口、追い口を作って伐り倒す体験です。予めマーキングしておいた木で、まずは班長が伐木の手順を説明し、いざ親子で挑戦！見事伐り倒して後は2mほどに更に伐って片付けました。みんな汗をかきながら夢中でチャレンジしていました。

四時限目は「冬芽の観察」です。トドマツの前に集合して酒井長老の説得力のあるお話からスタート。ここで次は森ボラ唯一の木育マイスター「マザー西野」さんのハズだったのですが、お休みとなったため急遽合田さんに代わってホオノキ、シナノキを説明、続いて蒔田さんがミズナラと、それぞれ落ち着いた説明で良かったですよ！途中長老がツノハシバミの実がヘーゼルナッツであることやイワガラミを説明。最後にキタコブシを、「ス



冬の森歩きで樹形や雪上の落し物を観察



チェーンソーで作った“受け口”を説明する



親子協働での伐木体験は混み入って曲がっている細い木を手ノコで伐倒した



しっかり腰を据え見事な手ノコさばきで

ノーシューを履いても歩くスピードが変わらない」驚異の佐野女子が説明して広場まで無事帰還。暖が取れないため用意していたホットドリンクとお菓子を貰ってみんな大喜びです。

最後のまとめでは記憶に残った事を「ノーシューを履いた事」「チェーンソーでの伐木の迫力」「自分で木を切って倒せた事」等々、みんなしっかりと春を待つ冬の森を感じ取った様子でした。解散後希望者が駐車場からの坂道に作った特設コースでソリ滑りを堪能！今回はスタート台を高くした事もあって、中々のスピードとスリルに親子共々歓声を上げていました。

今日一日を振り返ると、カリキュラムのバランスが良く、冬の澄川の森を短時間で十分に堪能できたのではないのでしょうか？（ちょっと事務局寄り目線か？）次回は早いもので修了式、全員参加で有終の美を飾ろうぜ！

（文・松藤）



ミズナラの五角形の冬芽をルーペで観察



駐車場からの坂道に造ったスロープでソリ滑り

■ 澄川の自然 18



ケヤマハンノキ（カバノキ科・ハンノキ属）

駐車場前の植栽地や小屋前の湿地帯の所など、カバノキ科（ハンノキ・ケヤマハンノキ・シラカンバ・ツノハシバミ等）の樹木は、秋が深まるずっと前から穂状に下がる雄花とその上に小さな雌花を付けています。春が近づくとつれ冬芽が柔らかくなり、まだ寒い頃から花粉を飛ばし始めます。

この木は痩せ地でも一番に成長したり、土壌改良をする肥料木だったり、夏にはミドリシジミと言う蝶に葉が食べられて林の中で汚い姿になっていて、私のイメージからするとランクが上の木になっていない可哀な木です。

文/写真・西野澄子

■ 図書コーナー

最近購入した図書を紹介します。閲覧、貸出し、今後の購入希望図書がありましたら市山、大窪まで連絡をお願いします。（事務局）

番号	図 書 名	著 者	発行所	購入年月
81	『日本の山ができるまで』	小泉 武栄	(株)A&F	2021年1月
82	『森 林 浴』	李 卿 (日本医科大学講師)	MANUKAI BOOKS GALLERY	2021年1月

*当会所有の蔵書は、ホームページの「会員のページ」を参照してください。

新入会員の紹介～よろしくお願ひします！

内田桐子さん (江別市野幌寿町) 趣味；自然散策、産業遺産めぐり
2019年度親子森林教室に娘さんの桂子さんと参加しました。

■ 今月の幹事会

出席者(2月9日):市山・大窪・荻田・樫棒・加藤・清澤・佐野・釣井・矢野

1. 2021年3月、4月スケジュール(3月幹事会3月10日(水)):了承、コロナ対策を継続。
2. 2021年1月会計報告、2月～3月収支計画:いずれも了承。
3. 第6回親子森林教室2021年度応募状況:参加予定者20名。
4. 森林・山林多面関係報告、決算報告:いずれも了承、2/19多面対策説明会・事例報告会参加。
5. 2021年度の人事関係検討:事務局長後任の対応、委員会・プロジェクトリーダー等の若干変更予定。
6. 現場報告
 - ・1/12伐木安全講習実施:新しい基準を踏まえた対応、ロープの結び方、チルホールの使い方等。
 - ・整理伐状況:D-2区では今年度予定の70%程終了。
7. その他
 - ・2/17冬季セミナー:①コロナ対策ビデオ ②シイタケ原木栽培を成功させるために
 - ・森林ボランティア活動はどうあるべきか、澄川の森の今後:継続して議論必要。

■ 活動履歴

月日	行事・活動地	参加数	活動内容
1月13日(水)	エルプラザ 冬季セミナー	-	コロナ対策により中止
1月15日(金)	澄川	-	コロナ対策により中止
1月17日(日)	澄川	20	D-2区手ノコでの整理伐
1月20日(水)	澄川	10	D-2区手ノコでの整理伐
1月23日(土)	澄川	18	D-2区整理伐
1月26日(火)	澄川	16	D-2区整理伐
1月29日(金)	澄川	-	悪天候のため活動中止
2月1日(月)	澄川	14	D-2区整理伐
2月4日(木)	澄川	18	D-2区整理伐、親子森林教室準備
2月8日(月)	澄川	14	D-2区整理伐
2月9日(火)	ラズ生活研究センター	9	幹事会
2月14日(日)	澄川	19	第6回親子森林教室
2月16日(火)	澄川	-	コロナ対策により中止